



## 新町西 再開発

# 原市長・・・「見直し」と言いながら 「再開発の音芸ホールは変えない」と



## 二割もの権利者が 再開発の「断念」求める

二月五日、市議会「開発特別委員会」、九日「建設委員会」が開かれ、「新町西再開発」について審議。この中で、「二割もの地権者が、再開発の『断念』を求めていること」や、「見直し」と言いながら、「再開発の音芸ホールは変えない」と強弁する「市民不在の原市政の特質」が、改めて浮かびあがりました。

### 「知事への同意申請を 取り下げる」のに 「現計画案を撤回」しない??

「知事への同意申請」：右の写真（完成図）の『現計画』を都市計画決定するためには、①都市計画審議会の採択 ②知事の同意という二つの条件が必要で、知事へ同意申請をしていたんですが、「同意を得ることは不可能」になり、「取り下げる」となった次第。要は、「現計画案を撤回する」ということです。

ところが、開発特別委員会へ、へいもと議員が質問したところ、第二副市長は「新町西での再開発を推進する。再



開発の音芸ホールは変えない」と強弁：十日には市長が同様のコメントを記者会見で発表しました。「知事への同意申請は取り下げる」のに、「現計画案を撤回しない」：こんなムチャクチャな「やり方」に市民の怒りが沸き起こるのは、火を見るより明らかです。

### 県の疑問に対し

肝心な点を答えず  
「悪いのは県」と・・・

市議会の委員会で「市長・知事会談の概要」が次のように報告されました：「多岐にわたって議論が行なわれたが、知事は、県費補助がない場合の事業の財源や鉄道高架への影響について、本市の説明では納得できないとし、依然と

して同意はできないとのことであった」と。要は、「県は相変わらず『財源』や『鉄道高架への影響』を挙げ、同意できないというが、市は全部答えてきた（これ以上答えようがない）。なのに『同意できない』と言つ」：「悪いのは県」という旨の議会報告ですが、『大変なゴマカシ』です。前号の「ホッとニュース」でもお伝えしましたが、県や知事が市に投げかけてきた



疑問は「（全国各地で再開発の延期や見直しが相次いでいるか）新町西再開発は、なぜ大丈夫なのか？再試算等、資金計画を示すよう」求めていること：県が繰り返し求めている『肝心な疑問』に一切答えず、市は「全部答えてきた：悪いのは県」という旨を繰り返し返していますが、「悪いのは県でなく、まさに徳島市である」とことは明白です。

「権利者（全部で百十三人）の意向尊重」と言つたのなう、  
現計画を、まず白紙に

市議会の委員会で、第二副市長は「権利者の意向を尊重しなければな

らない」と強弁：だから「新町西での再開発を推進する。再開発の音芸ホールは変えない」と。

こんな、筋の通らない、ムチャクチャな答弁はありません。二割もの権利者が「再開発の断念」を求めており、また、以下に掲載していますが、「再開発の音芸ホールはダメ」の意見を提出しているからです。

「権利者の意向を尊重する」と言う

## 「音芸ホールは

## 中心市街地活性化にならない」など

## 二十三通もの『地元権利者の反対意見書』

昨夏の都市計画審議会に寄せられた意見書の中に、新町西再開発に反対する地元（新町西）権利者（全部で百十三人）の意見書が二十三通も含まれていました。

その内容は、新町西再開発に疑問や反対の声を挙げている、たくさん「市民意見」と軌を一にするもので、次のような内容です。

### 音芸ホールは

### 旧動物園跡地で建設すると

### なっていたのに・・・

「地元権利者の反対意見書」（徳島

のなら、現計画を、まず（断念も含め）白紙に戻すのが筋道です。

また、「権利者の意向」と言いますが、一番に尊重すべきは百十一億円もの負担（『現計画』）を強いる「市民の意向」：それが欠落しているのが『原市政の特質』ですが、「権利者の意向」だけを強弁するところに、その『特質』がよく現れています。



市当局が要約）ですが、まず『音芸ホールについて』：音芸ホールは旧動物園跡地で建設するとなっていたのに、なぜ唐突に

新町西になったのか、理解に苦しむ。音芸ホールは中心市街地活性化にならない」と述べています。

これは、四国放送テレビ『おはようとくしま』のアンケート結果『旧動物園跡地に建設』と「文化センター改修」が六十%を超え、その

一方で「新町西に建設」はわずか七・五％に現れている「市民意見」：それと軌を一にする「権利者意見」です。



### 高層マンションは

### 徳島の顔「眉山」という

### 主要な観光資源を損なう

「地元権利者の反対意見書」の「住宅棟（高層マンション）について」：「建設予定地は、徳島市都市景観形成基準で『ビルは六階建てまで』と指導してきた。市自ら約束を反故にするその態度には大きな矛盾がある。高層マンション建設は、「眉山」という徳島の顔ともいえる主要な観光資源の景観を損なう」と述べています。

これも、多くの「市民意見」と軌を一にする「権利者意見」です。

### 近隣駐車場をあてにする

### 計画には無理がある

「地元権利者の反対意見書」の「駐車場棟について」：「駐車場を多数確保する必要があるにもかかわらず、駐車場も確保せず、近隣の駐車場をあてにする計画には無理があ

る」と述べています。

これも、多くの「市民意見」と軌を一にする「権利者意見」です。二百十台分の駐車場棟ですが、そのうち百四十台分は高層マンションの住民用。買い物やホール利用者用には、わずか七十台分しかありません。

### どんなに いい条件を

### 示されても同意しない

徳島新聞に紹介されましたが、森竹（八百秀）さんは「今回の再開発には問題点が多く、賛同できる絶対的な理由がない。どんなに いい条件を示されても同意しない」とコメントしています。

### 一生懸命頑張り守った

### 土地と創業百年の店

### 再開発には絶対反対

徳島新聞の『読者の手紙』：「私は亡き父母に、一生懸命頑張り守った土地と創業百年の店を託された、再開発事業予定地の地権者です。再開発には当初から絶対反対の立場です：地権者は再開発賛成者だけでなく、当初から絶対反対の者も、私を含めてかなりいます」

